

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	YMCAカラフル		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公益財団法人ぐんまYMCA全体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・YMCAアフタースクールCoCon(学童)との交流 ・バザーやファミリークリスマス会、チャリティーランなど地域に開かれた行事や様々な人と関わる機会の提供 ・「赤城キャンプ」を利用した野外活動 	参加できるプログラムの広報を強化し、活動に幅広く関わることで経験を増やし成長できるように、参加を促していく。
2	ボランティアリーダー(主に大学生)の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・YMCAの活動に携わっているボランティアリーダーが、レクリエーションをしたり、話し相手になったりと、日常的に自然と交流できる環境作り。 ・ボランティアリーダーにYMCAカラフルの子どもたちについての対象理解・研修を行い、適切な対応ができるように指導している。 	特定のボランティアリーダーのみならず、多数のリーダーがYMCAカラフルの活動に関われるように、ボランティアリーダーとの交流の日等を設定して、定期的に多数のリーダーと交流できるように取り組んでいく。
3	施設空間の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・1階・2階と十分なスペースがあり、「学習スペース」「静かに過ごす部屋」「運動スペース」を設置。活動空間を分けて各所に職員を配置し、子どもたちの状況に配慮している。 	わかりやすく分けた空間を、今後はグループ活動等でより有効的に活用していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容や行事予定といった情報の定期的な発信	HPやSNSを利用することは容易であり情報の発信としては有効的なツールとして認識している。しかし、不特定多数が目にするため、情報発信に工夫が必要となる。	以前発行していた法人全体の通信(機関紙)を利用者向けに発行できるよう取り組んでいく。
2	グループ活動	長期休みではグループ活動に取り組んでいるが、平日は個々の主体性を重んじた活動が中心となっている。	平日においても、主体性を大切にしつつ、グループ活動に取り組めるように活動内容を整えていく。1階・2階と広い施設空間を有効的に活用していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		YMCAカラフル		公表日 2025年 3月 10日				利用児童数 13名		回収数 10名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1		2	適切人数を知らない。	法令を遵守した職員体制となっています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10								
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1		1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10								
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10								
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	2		2	長期休みは固定化されないよう工夫されている。日々はわからない。	個別の評価、課題をもとに変化を加え実施しています。今後も工夫を重ねて進めていきます。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1		2					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1							
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4		3	3	・なくても困ってはいない。 ・研修会？	保護者の方々のご意見を聞きながらご要望に応じて実施していきます。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	2	3	・カラフルのみでは行っていないような気がする。 ・仕事で参加できないので、私的には保護者会はなくて良い。 ・バザー等の場はあるが、参加は自由である。問題はない。	保護者の方々のご意見を聞きながらご要望に応じて実施していきます。			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10									

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1	1	・いつ結果を発信しているなどは聞いていません。	保護者様向けの評価、自己評価については、実施の翌月にHPにて結果をお知らせしている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			8	・ちゃんと聞いていないだけかもしれませんがわかりません。	マニュアル等は策定済みであり、改めて保護者の方々が分かるように整えていきます。必要な訓練を年間予定を立てて実施していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2		1	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			2	・今のところ怪我がないためわからない。	事故、怪我が発生した際には、当日または必要に応じて発生時に保護者の方へ状況を連絡し、説明します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10					
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				・今後もよろしく願います。	今後もお子様、保護者の方々が安心してご利用できるよう、職員全員で取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		YMCAカラフル		公表日		2025年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・スペースは多くあり、運動なども自由にできる環境を提供している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・個別の対応やスペースで職員が分散しても対応できる職員数を常時確保できている。 ・ロビー・ナースリールーム・2階へと分担して配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・活動スペースが数か所に分かれているが、各所に職員を配すことを徹底して、児童の状況に配慮している。 ・勉強する空間・静かに過ごす部屋とわかりやすくしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・従来の活動スペースのほかに、卓球など体を動かす部屋を確保している。 ・定期的に掃除を行い、清潔な空間を作れている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・卓球などの運動をしたい場合は、2階を開放して職員も把握できるようにしている。 ・静かに過ごす部屋を作って勉強したり、落ち着いたりする環境作りをしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・定期的に面談をしている。 ・定期的に会議を設け、改善点や具体的な支援について話し合っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・定期的に評価表を実施している。	・アンケートを実施し、よりよいものにしていくための業務内容を考える必要がある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・日常的に意見交換するとともに、会議を定期的に行うことで業務改善につなげている。 ・会議の中で、最近のメンバーの中で気になることを共有できる機会がある。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	・入職間もないため分からない	・普段関わりを多く持たない方に、客観的な意見を聞く機会があるとよい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・スキルアップ・キャリアアップも含めた研修に積極的に参加できている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	1	・入職間もないため分からない	・今年度中に公表していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・個別で面談を行い、支援計画に反映している。 ・要望に沿って対応できている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・会議を定期的に行い、各職員の意見を計画に反映している。 ・会議のみならず普段の話し合いの中でどうしていくべきかを確認している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・個別支援計画を作成し、皆で共有することができている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・日常的な記録をとっている。 ・日々の記録を確認し、子どもの現状を把握することができている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・職員間で相談し、最適な支援内容の作成にあたり、共有し、より良い支援へと繋げられている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・複数職員で立案し、各職員の意見も反映している。 ・会議や話し合いの中で意見を共有し、取り組んでいる。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・児童の状況に合わせて固定化しないよう日々検討している。 ・子どもたちの状況を把握したうえで、何が必要かを見てプログラムを計画している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・集団で動くことの必要・重要性を体験してもらいながら、個別活動も取り入れ支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・送迎の確認は、全体で行っている。前日などの支援内容の情報共有などは児童利用開始前に実施している。 ・その日の確認をとってから支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・退勤時間がバラバラであるが、いる職員は送迎終了後必要なことを情報共有している。 ・その日の気になった点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・コミュニケーションノートを活用し、気づいた点を記録している。 ・活動日誌に詳細を記載し、職員間で共通理解し次に繋げていくようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・計画的にモニタリングを行い、次の支援計画の見直しに生かしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・こどもの意見を尊重する支援が統一されている。自己選択できるような言葉かけをしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	・必要に応じて連携している。 ・入職間もないため分からない。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・各学校・保護者から下校時刻や月間予定について書面を頂き、また必要に応じて学校と連絡をとり、情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	・主に相談員を通じて情報共有している。 ・入職間もないため分からない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2		・情報を求められた場合に提供している。 ・入職間もないため分からない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	・必要に応じて研修等を受けられるよう情報を得ている。 ・入職間もないため分からない	・必要に応じて助言、研修等を積極的に受けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	・Y M C A の学童との交流の機会は定期的に実施している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2	・入職間もないため分からない	・今後必要に応じて検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・送迎の時やモニタリング、計画説明のときにシェアしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	・入職間もないため分からない。	・保護者の方々の意見を聞きながら要望が出てきた時には実施する必要がある。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に説明。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・定期的な面談にて実施。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		・計画作成後に内容説明を行い、署名にて同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・定期的な面談に加え、必要に応じて面談や相談を受け付けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		・必要に応じて保護者会の開催を検討する

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・苦情のみならず日頃の相談も受けられるように体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	3	・入職間もないため分からない	・YMCA全体の通信を発行できるよう整えていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・話し方、伝え方について工夫をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	・YMCAとして行事やプログラムを定期的に行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3	・入職間もないため分からない	・策定済みであるため、今後周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	3	・入職間もないため分からない	・策定済みであるため、今後訓練を実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		・家族から情報を得て、支援に反映している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・家族から情報を得て、支援に反映している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		・入職間もないため分からない。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	・入職間もないため分からない。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・定期的な会議にて共有し、再発防止の方策を検討している。 ・入職間もないため分からない。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		・YMCA全体の研修を実施している。 ・入職間もないため分からない。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	1	・契約時に説明を行っている。 ・入職間もないため分からない。		